

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成24年7月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要
【前月からの動き】

↻ 前月比

- ▶ 製造業では、売上高において「増加した」業種は5のまま変化なし。「減少した」業種は5から4に減少。
- ▶ 非製造業では、売上高において「増加した」業種は7から13に増加。「減少した」業種は12から5に減少。
- ▶ 業界の景況では、「好転した」業種は5のまま変化なし。「悪化した」業種は10のまま変化なし。

↻ 前年同月比

- ▶ 製造業では、売上高において「増加した」業種は5から3に減少。「減少した」業種は8から6に減少。
- ▶ 非製造業では、売上高において「増加した」業種は8から10に増加。「減少した」業種は10から8に減少。
- ▶ 業界の景況では、「好転した」業種は7から8に増加。「悪化した」業種は16から14に減少。

製造業

■ 乳製品

【県内全域】

牛乳類の安売りが目立って多い。全社とも特売中心に販売している。

■ 製材

【県内全域】

太陽光発電やスマートハウス等のリフォーム増加により、住宅業界以外からの参画の増加が目目されている。

■ 製材

【木更津】

国産針葉樹の需要が増加して輸入針葉樹が苦戦している。

■ 印刷

【県内全域】

6月と比較して若干悪化した模様。前年同月比では東日本大震災後の状況が幾分好転してきた。

■ 電気鍍金

【千葉】

経済環境は、依然として好調とは言えない。今夏を過ぎても発注先の好転の望みがない。

■ 鉄工

【千葉】

全体動向として、ここ2〜3ヶ月間特段の変化も見られず、景況は弱含みながら横ばい推移の状況が続いている。

■ 機械部品製造

【野田】

先月同様、先行き受注の見込みが心配される。先行き不透明な状況にある。

■ 機械部品製造

【流山】

電気料金が値上げになり、各社の負担が増加し、影響が大きい。

■ 機械部品製造

【柏】

大手取引先（上場）の現況への対策の動きが活発。特に自動車は内製化のスピードが速まっている。組合を取り巻く業界については、相変わらず海外への生産拠点のシフトが続いている。

■ 金属製品製造

【船橋】

お盆の連休関連による単発的な仕事の動きは見られるが、総合的には落ち着いた状況にある。開発製品の販路の拡大に努めている。

■ 採石

【県内全域】

東京港では港湾整備が始まり、既に前年度総量を上回る岩石等の出荷が見込まれており、今後も見込める。横浜港の南本牧コンテナターミナル整備事業での工事が9月以降見込まれる。

■ 土砂採取

【県内全域】

引き続き骨材の需要は減少したまま推移。地域別では主要の生コン業界へは若干の出荷増はあるものの力強さのないところや6月は好調であったが7月はやや低調に推移しているとみられるところ、売上が増加・不変、在庫が減少・不変で景況に大きな変化はない

ところ等が見られる。

非製造業

【総合卸売】 【千葉県・東京都】

【鶏卵卸】 昨年は震災により東日本の鶏卵生産が減少して価格が上昇したが、今年は東日本の生産回復と西日本の昨年から増産により供給過剰気味。夏場の需要減少期と合わせ、価格下落の傾向。

【食肉卸売】

【千葉市他】

明るい兆しが見えてこない。牛の肝臓生食が禁止されたために内臓価格が下落している。

大規模小売店舗の進出により中小小売業者の閉店が見られる。

【建築材料卸売】

【県内全域】

セメントは東北は無論、東京・埼玉も需要が見込まれるが、千葉は残念ながら期待できない。大型物件が乏しく、復興需要から取り残されているが、近い将来は動くはず。欧州懸念もあるが、当面前年より悪くなる材料はない。

業界の動向としては、セメントは全国的に需要が回復気配。東北のがれき受入償却は社会的使命であるが、収益にも好材料となっている。原熱料の石炭も円高恩恵で実質値下がりしているため、月次決算は良好の気配。

【自動車解体】

【県内全域】

スクラップ価格下落続く。円高による海外向け部品販売の環境の悪化。

【乾物卸売】

【県内全域】

消費低迷状況は変わらず。業界動向は、CODEX（国際食品安全規格）の海苔に関する規格制定のアジア地域調整部会の公式協議が行われた。日中韓の3国間での議論が収束しなかったため、共同提案が無理となる可能性が大きく、2年後のCODEXアジア地域調整部会に向けて、議論を進めるか持ち帰り検討することとなった。

総務省が行った昨年の全国家計調査の結果、品目別の年間支出で千葉市が海苔購入金額で日本一に。これに伴い「日本一ありがとうキャンペーン」を実施するためプロジェクト委員会を発足させた。

【小売】

【柏】

極度な節電の心配がなく、昨年より活気を感じる。見切りに入った軽衣料品を中心に売れているが、後半は暑さからか客数が伸びない。

【電気機器小売】

【県内全域】

猛暑が続き、エアコンの動きが顕著。ただ前年に比べると小商いで推移している。冷蔵庫、洗濯機

が動き始め、この猛暑が8月いっぱい続けばかなり助かる。

【青果小売】

【千葉】

相場の下落により、利益額が低下。暑さによるロスも目立つ。ギフトの動きは予想を下回った模様。

【中古車仕入・販売】

【県内全域】

エコカー補助金の早期終了による新車の駆け込み需要で、相対的に中古車の引き合いが弱まっている。また、夏のボーナス商戦も低調で、相場が下落状況。円高による輸出も厳しい状態が続いている。

【小売】

【東金】

前半があまり暑くならなかったので、全般的に不調。ファッション関連品は、前半の夏物バーゲン時期で振るわなかった。食品関係は後半になり盛り返した。高額品関係は、依然として低迷。後半、オンラインピックが始まり夕方から夜の客が減ってしまった。

【小売】

【野田】

先月より猛暑対策として、朝8時開店を実施した結果、午前中の来店客が増加し、売上に結びついてきた。

【小売・サービス】

【柏】

商店街には激暑になると人出が全くなくなり、午前中と夕方の商

売の気配。商店会のガラポン抽選会を実施したが暑さが災いしてか抽選回数では今迄で一番の悪い結果となった。

【建設揚重】

【県内全域】

石油プラント定修工事他、県内工事はいずれも小規模工事で需要の低迷が続いている。

【一般廃棄物処理】

【千葉】

前年よりは良かったものの、例年通りの状況となった。（昨年は地デジ化の影響により非常に良い状況だったため、前年同月比は悪化となっている）

【ソフトウエア】

【県内全域】

低迷状態継続中。業界の景況前年同月比が好転となっているが、震災後の前年との比較なので、評価できる状況ではない。

【建設】

【県内全域】

当連合会会員の受注額は、8,555百万円であった。これは前月比で3,942百万と大幅な増加。前年月比でも1,928百万の増加となった。

【貨物運送】

【野田】

先月に続き良い傾向。燃料単価も少し下がり落ち着いてきた。

【輸出入】

【県内全域】

回復基調にある。